

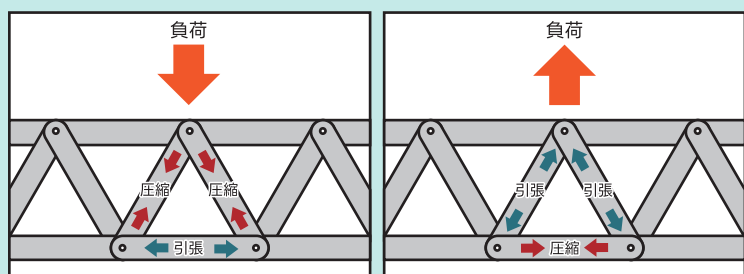
デルタ トラス



本物のトラスによる 本物の強さ

デルタトラスは、曲げ板三枚を三角形に組み合わせた補強資材です。
アーチパイプでも母屋パイプでも、強化したい箇所に妻用ユニバーサルで
取り付けることで、パイプを曲げようとする負荷に対して格段に強くなります。

△△ トラスとは？ △△



トラス構造とは、複数の三角形を連結させた骨組構造のことを言います。トラス構造は右図のように部材を曲げようとする力を圧縮あるいは引張りの負荷に変えることができます。

パイプをはじめほとんどの部材は、曲げよりも圧縮や引張りに耐える力のほうが何倍も強いです。ビニールハウスを構成する鋼管パイプは「てこ」などを使えば人力でも曲げられますが、圧縮したり引っ張ったりして変形させることが難しいのは実感として分かると思います。

つまり、トラス補強を入れることでパイプを曲げようとする負荷を抑制することができ、ビニールハウスを守ることができます。

デルタトラス取付方法

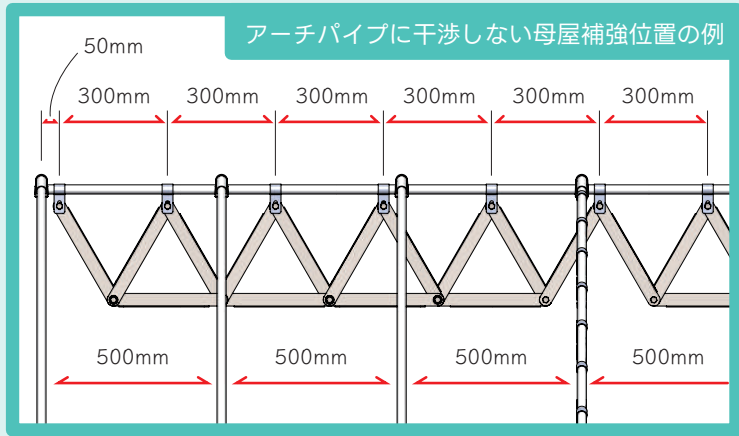
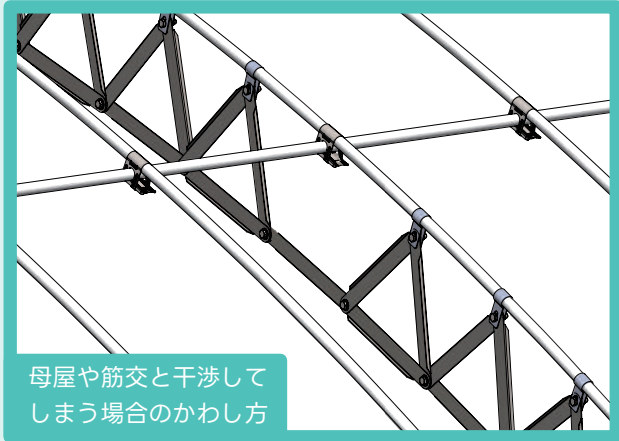
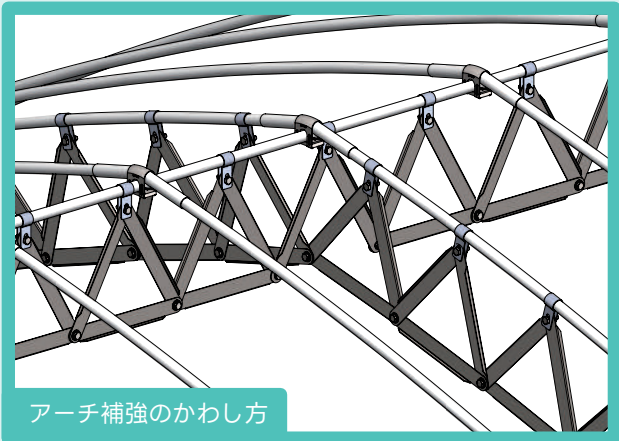
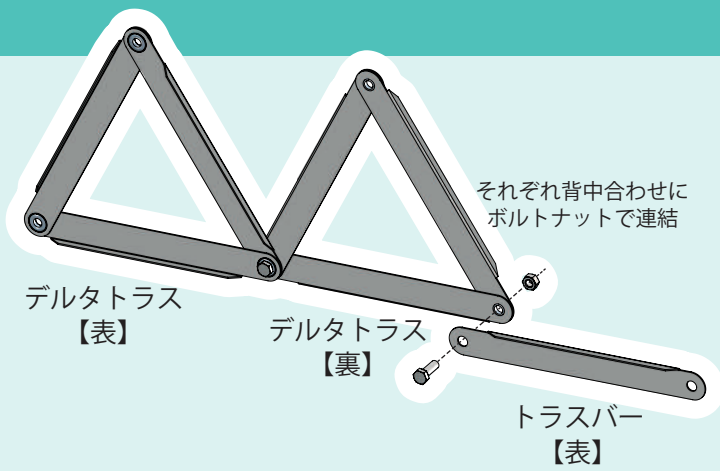
デルタトラス同士をボルトナットで連結し、妻用ユニバーサルでアーチパイプ等に取り付けます。

デルタトラスは曲げ板の立ち上がりがある方（表）と立ち上がりがない方（裏）があり、連結する際は裏同士を背中合わせにして繋いでいきます。

デルタトラスの一边のみをバラでお出しする製品がトラスバーです。これは末端の接続や、母屋や筋交などをおこなう際に使用します。

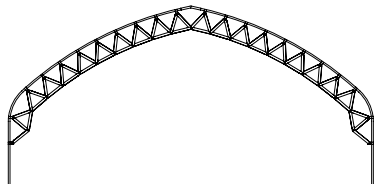
アーチパイプに設置する際は三角形の底辺をアーチパイプと平行にするように取り付けるときれいに収まります。本紙の写真や図を参考にしてください。

母屋に使用する場合、アーチピッチが 500mm ならアーチから 50mm の位置からスタートすることでアーチに干渉せず取り付けことができます。アーチに取り付けられたデルタトラスはトラスバーを使ってかわします。母屋や筋交などと干渉してしまう場合もトラスバーでかわしてください。

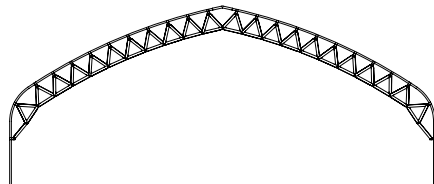


デルタトラス必要数目安（1 アーチ分、肩まで）

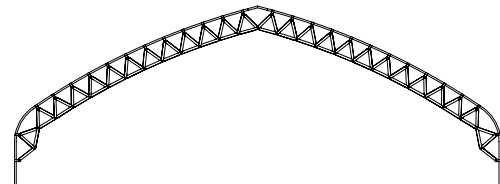
設置例



間口 5.4m



間口 6.3m



間口 7.2m

	間口 5.4m	間口 6.3m	間口 7.2m
デルタトラス	20 個	22 個	26 個
トラスバー	2 個	2 個	2 個
妻用ユニバーサル	22 個	24 個	28 個
ボルトナット	43 組	47 組	55 組

肩より下にも取り付ける場合は、30cm につきデルタトラス 1 個で計算してください。

母屋に取り付ける場合も 30cm につきデルタトラス 1 個で計算してから、交差するデルタトラス付アーチ数分減らし、減らした数 × 2 のトラスバーを追加してください。